

HIYOSHI CAMPUS CALENDAR

DECEMBER 2009

2009.12.1. 発行 第127号

慶應義塾大学（日吉）HIYOSHI CAMPUS CALENDAR 編集部（日吉キャンパス事務センター運営サービス内）編集・発行

国際センター主催プログラム参加者募集

① 2010年度慶應義塾大学派遣交換留学生

- ◆第2期募集 出願期間：2009年11月30日（月）～12月3日（木）
（第1期募集協定校に関する追加募集も、第2期募集と同時に行います）
- ◆第3期募集 出願期間：2010年6月14日（月）～6月16日（水）

詳細は「2010年度留学のてびき・派遣交換留学生募集要項」または国際センターホームページ www.ic.keio.ac.jp/keio_student/exchange/ で確認してください。最新の情報・変更点については当ホームページにアップしますので定期的に確認してください。「2010年度留学のてびき・派遣交換留学生募集要項」は各キャンパス学生部国際担当およびSFC事務室で配布しています。

② 春季在外研修プログラム（春休み中の海外プログラム）

- ☆ フランス・パリ政治学院春季講座（使用言語：英語）
- ☆ 韓国・延世大学春季講座（使用言語：英語）
- ・ 出願期間：2009年12月1日（火）・12月2日（水）



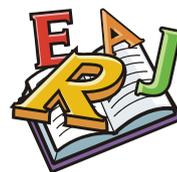
詳細は国際センターホームページで確認してください。（国際センタートップページから、「海外に関心のある塾生へ」「短期プログラム」「春季在外研修プログラム」と進んでください）。

日吉キャンパス情報

■日吉メディアセンター（日吉図書館）■

【冬季長期貸出】

- ・貸出日：2009年12月9日（水）～28日（月）
- ・返却期限日：2009年1月13日（水）
*通常2週間貸出の資料が対象となります。
*貸出冊数に変更はありません。



【12月の開館日程】

- ・通常開館：2009年12月1日（火）～22日（火）
平日 8:45～21:00
土曜 8:45～18:00
- ・短縮開館：2009年12月24日（木）～28日（月）
平日 8:45～18:00
土曜 8:45～16:00
- ・休館：日曜・祝日
キャンパス一斉休暇 2009年12月29日（火）～2010年1月5日（火）
*新年は1月6日（水）から通常開館いたします。

【展 示】～「パリ・オペラ座 -ネズミから星へ!-」

スジェ、コリフェ、カドリーユ?そして小さな子どもたちはネズミって???
これらはパリ・オペラ座で使われる独特の言葉です。今回は3月に来日するパリ・オペラ座やバレエに関する小展示を行います。日吉メディアセンターには芸術関係の資料がいっぱい。冬休み、春休みに芸術に触れてみませんか?

- ・期 間：12月7日（月）～2010年2月4日（木）
- ・場 所：日吉メディアセンター（日吉図書館）1階展示ケース

【学習相談アワー実施中】

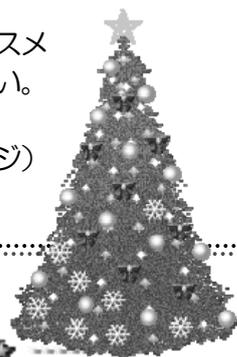
レポートやプレゼン作成に関する相談を受け付けています。教養研究センター設置科目「アカデミック・スキルズ」で優秀な成績を修めた塾生が相談にのります。お気軽にご相談ください。お待ちしております。

- ・期 間：2010年1月15日（金）まで ※冬休み期間はお休みです。
- ・時 間：平日の13:00～18:00
- ・場 所：日吉メディアセンター（日吉図書館）1階レファレンスデスク

【塾生が塾生にススめる本】

塾生が塾生にオススメする本をコメントとともに展示しています。同時にあなたがオススメしたい本も募集しています。1階ラウンジのパネルにオススメの本を書いて貼ってください。

- ・期 間：12月下旬まで
- ・場 所：日吉メディアセンター（日吉図書館）1階インターネットエリア（ラウンジ）



アート・センター



「映像人類学とアート」

～人類学的表現の新地平を求めて — 映像とアートが紡ぐ記録と表現の新たな関係～

映像を用いた学術研究への志向と、アートとしての映像制作志向——映像人類学 はその出発の当初より両方の志向にまたがりながらも、前者を重視するかたちで 映像作品を生み出してきました。今回の企画では、映像人類学の原光景をふりかえりながら、フィールド映像記録と表現の問題を、学術映像とアートの間に横たわる諸問題とつきあわせて再検討します。さらに、今日めざましく発展・革新された映像手法を用いて新たな映像人類学作品が生み出されている状況に照らして、この論点を新しいかたちで展開させたいと思います。

その目的のため、古典的作品、現代の作品の中から注目すべき映像作品を上映いたします。下記の協力機関より助力をうけ、作品を選出・上映し、その後、世界的映像人類学者をお招きして討論をおこないます。



プログラム

12月14日 (月)	
15:30 ~	映像上映 <i>A Balinese Trance Séance</i> by Timothy Asch, Patsy Asch & Linda Connor <i>Dead Birds</i> by Robert Gardner Gregory Batesonのバリ映像の一部ほか
18:00 ~ 19:30	ワークショップ討論
12月15日 (火)	
13:30 ~	映像上映 <i>Kusum</i> by Jouko Analttonen with Antti Pakaslahti <i>Were Ni! He is a Madman</i> by Frank Speed & Raymond Prince <i>Living with the Invisibles</i> by Dirk Dumont with Philip Hermans 牛山純一映像記録作品ほか
18:00 ~ 19:30	シンポジウム

- ・ 開場時間は上映の30分前となります。
- ・ プログラムは予告なく変更される場合があります。
- ・ 日本語での発表が中心となりますが、英語発表・討論部分については 簡易通訳があります。

- ゲストスピーカー: Sarah Pink (Loughborough University)
Karl G. Heider (University of South Carolina)
新井 一寛 (京都大学) / 内田 順子 (国立歴史民俗学博物館) 
村尾 静二 (総合研究大学院大学) / 橋本 順一 (慶應義塾大学)

- モデレーター : 宮坂 敬造 (慶應義塾大学)

- 会場: 慶應義塾大学三田キャンパス 東館6F G-sec Lab. 【入場無料・事前申込み不要】
■主催: 慶應義塾大学アート・センター
■共催: 慶應義塾大学GCOE「論理と感性の先端的教育研究拠点形成」哲学・文化人類学班
■協力: 第13回京都大学国際シンポジウム「学術研究における映像実践の最前線」
Royal Anthropological Institute / 川崎市市民ミュージアム

- 問合せ先: 慶應義塾大学アート・センター image-rec-sympo2009@adst.keio.ac.jp 
■ウェブサイト: <http://www.art-c.keio.ac.jp/event/log/312.html>